

令和元年7月5日
県立高校校名検討懇話会
会長 山本 光

県立高校校名検討懇話会は、県立高校改革実施計画（I期）に基づき学科改編及び再編・統合等の対象となる高校の名称案について検討するため、平成28年4月に設置された。

このたび、令和2年度に再編・統合により新たに開校する4校の校名候補を選定し、「県立高校改革実施計画（I期）第三次報告書」として神奈川県教育委員会に報告するものである。

1 校名選定の考え方について

校名選定にあたっては、平成28年度にまとめた「県立高校改革における校名選定の考え方」に基づき、協議・検討した。

県立高校改革における校名選定の考え方

《校名選定の方針》

- ① 再編・統合等の対象となった学校の校名を選定する。
- ② 校名の検討時期は、再編・統合等の実施年度の前年度とする。
- ③ 単独改編は原則として校名変更は行わない。ただし、学科表示等に齟齬^{そご}ある場合は除く。
- ④ 普通科専門コース及びフレキシブルスクールの解消については、校名変更は行わない。

《校名選定の基本的な視点》

- ① 学校の所在地や学校の種類がわかりやすいこと。
- ② 生徒や学校関係者、地域の方々に親しまれるものであること。
- ③ 生徒がその学校で学ぶことに喜びと誇りを持つこと。

《校名選定の考え方》

基本的視点を踏まえ、既存名称の使用も含め、概ね次の考え方により校名を選定することとする。

(1) 学校の所在地の市区町村名を使用する。

- ① 市区町村名を使用することを原則とする。
- ② 既に、市区町村名が使用されている学校が存在する場合は、市区町村名と地名・地域名（字名、所在する地区を表す東西南北などを含む）を使用する。
- ③ 市区町村名、地域名等を使用することで既存の学校と類似する校名になる場合や、生徒が喜びと誇りを持つような校名として適切な言葉がある場合は、学校の設置趣旨、期待等を表す言葉（ひらがなの使用など表記を工夫することを含む）などを使用する。

- ④ 既存の学校を除き、広域の地域名は、既存校と区別しやすい、あるいは、全県のバランス上など広域名を使用しても他への影響が小さい場合などに限り、使用を検討する。

(2) 学校の種類を表す言葉を付加する。

- ① 普通科は、これまでも学科を表す言葉を付加しないことから、これに合わせて、今後も学科を表す言葉はつけない。(フレキシブルスクールも普通科の単位制であることから、学科名はつけないが、学校の趣旨等を表す言葉やひらがなの使用など表記を工夫する。)
- ② 総合学科は、「総合」を付加することで学科を表す。
なお、総合学科から他の学科への改編にあつては、原則として「総合」を削除する。
- ③ 専門学科にあつては、専門教育の特徴を表す言葉で学科を表す。
この場合は、同一の学科は同一の言葉を使用する。ただし、複数の学科を併置する場合は、この限りでない。

(3) 上記のほか、次の点に留意する。

- ① 長さ、読みやすさ、語呂、略称(短縮した校名)、響きなどにも留意する。
- ② 既設校等の類似名称は避ける。
- ③ 差別語、揶揄^{やゆ}される意味の言葉、地元や生徒等が嫌う語彙は避ける。

2 対象校について

「県立高校改革における校名選定の考え方」に基づき、(1)から(3)のとおりに、新たに開校する4校を校名選定の対象校とした。

(1) 令和2年度に再編・統合を実施する高校(9校10課程)

高校名 [所在地] (課程・学科)	再編・統合後の課程・学科
氷取沢高校 [横浜市磯子区氷取沢町 938 番地の 2] (学年制全日制 普通科) 磯子高校 [横浜市磯子区上中里町 444 番地] (学年制全日制 普通科)	学年制全日制 普通科
横須賀明光高校 [横須賀市佐原四丁目 20 番 1 号] (単位制全日制 福祉科・国際科 ^{*1}) 大楠高校 [横須賀市荻野 14 番 1 号] (学年制全日制 普通科(クリエイティブスクール))	学年制全日制 普通科(クリエイティブスクール)・ 福祉科
平塚農業高校 [平塚市達上ヶ丘 10 番 10 号] (学年制全日制 農業科) 平塚商業高校 [平塚市中里 50 番 1 号] (学年制全日制 総合ビジネス科)	学年制全日制 農業科・ 総合ビジネス科

弥栄高校※ ² [相模原市中央区弥栄 3 丁目 1 番 8 号] (単位制全日制 普通科・スポーツ科学科・ 音楽科・美術科) 相模原青陵高校 [相模原市南区新磯野 468 番地] (単位制全日制 普通科)	単位制全日制 普通科・ スポーツ科学科・音楽科・美術科
高浜高校 [平塚市高浜台 8 番 1 号] (学年制全日制 普通科) 平塚商業高校 [平塚市中里 50 番 1 号] (単位制定時制 総合学科)	学年制全日制 普通科・ 単位制定時制 普通科

※ 1 横須賀明光高校国際科については平成 30 年度入学生から募集を停止している。

※ 2 弥栄高校は学科改編により平成 29 年度から普通科・スポーツ科学科・音楽科・美術科が設置された。(平成 30 年度までは、学科改編前の学科である国際科・理数科・芸術科・スポーツ科学科が設置されていた。)

(2) 対象校の選定

校名選定の方針①では、再編・統合等の対象となった学校の校名を選定することとしているが、高浜高校(全日制)と平塚商業高校(定時制)の再編・統合については、平塚商業高校(全日制)の再編・統合に伴い、定時制課程が高浜高校に移行するという形態であること、定時制課程は総合学科から単位制普通科に改編されるが、高浜高校(全日制)は変わらないことから、高浜高校の単独改編に近いものであり、学科表示にも齟齬が生じないことから、校名を変更するような再編・統合にはあたらないと判断し、校名選定の対象校としないこととした。

(3) 校名選定の対象校

高浜高校(全日制)と平塚商業高校(定時制)を除く、4組(8校8課程)について協議・検討することとした。

3 校名候補の選定

校名候補の選定にあたっては、平成 30 年 7 月 31 日から 9 月 28 日にかけて対象校を通じて関係者(生徒、教職員、PTA、同窓会、地域住民等)から意見聴取した結果と、平成 30 年 11 月 2 日から 12 月 14 日に対象校を訪問して関係者(生徒、教職員、PTA、同窓会、地域住民等)から意見聴取した結果も踏まえ、「地名・町名等に関連するもの」、「両校の校名を生かして特徴を表すもの」、「再編・統合後の新校を象徴するもの」という視点で検討し、既存の校名を活用する案も出ていることから、これも視点として加え次案のとおり選定した。

(i) 氷取沢高校・磯子高校

校名候補	選定理由
<p>よこはま ひ とりざわ 横浜氷取沢</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所在地名として、市名である「横浜」を冠する。((1)－①) ○ 地名・町名等に関連するものとして、新校の所在する地域名である「氷取沢」を付する。(「氷取沢」は、再編・統合前の一方の校名であるが、「校名選定の考え方」に沿い地域名として使用した。)((1)－②) ○ 新校は普通科であることから、学科を表す言葉は付さない。((2)－①)
<p>ひ とりざわ 氷取沢</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の校名が浸透し、親しまれている点にも配慮し、現在の校名を生かす。(「氷取沢」は、再編・統合前の一方の校名であるが、「校名選定の考え方」に沿い地域名として使用した。)((1)－②) ○ 新校は普通科であることから、学科を表す言葉は付さない。((2)－①)
<p>いそご ひ とりざわ 磯子氷取沢</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所在地名として、区名である「磯子」を冠する。((1)－①) ○ 地名・町名等に関連するものとして、新校の所在する地域名である「氷取沢」を付する。((1)－②) ○ 磯子高校の「磯子」と氷取沢高校の「氷取沢」を生かし、今までの両校の伝統を継承し、新校に誇りを持てる名称とする。((1)－③) ○ 新校は普通科であることから、学科を表す言葉は付さない。((2)－①)
<p>み なぎ 海風</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海のように広い見識を持ち、^{なぎ}風のように穏やかな心で学校生活を送るイメージを「海風」と表し、新校に誇りや期待を持てる名称とする。((1)－③) ○ 所在地名として、市名である「横浜」を冠すると、既存の高校の校名(横浜市立南高校)と類似することに留意し、「横浜」を冠しないこととする。((3)－②) ○ 新校は普通科であることから、学科を表す言葉は付さない。((2)－①)

(※「選定理由」の()内の数字は《校名選定の考え方》の番号)

《学校を通じた意見聴取結果：氷取沢高校》

【生徒】（意見聴取の方法：アンケート用紙の配付・回収）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
ひとりざわ 氷取沢	長年親しまれている。校名が変わるのは悲しい。 簡単には読めないレアな感じも気に入っている。
よこはまひとりざわ 横浜氷取沢	横浜にある氷取沢高校とわかりやすく、珍しい地名とひびきを残したい。「氷」という字は貴重である。
よこはまいそご 横浜磯子	磯子区に立地しているから。
あげみさわ 上美沢	校舎が丘の「上」にあつて、緑がキレイで「美」しく、氷取沢の「沢」は残したい。
その他、校名検討に関する意見 「氷取沢高校」という今の校名に誇りと愛着を持っている、という意見が多数あり。	

【教職員】（意見聴取の方法：アンケート用紙の配付・回収）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
ひとりざわ 氷取沢	所在地が氷取沢町。読みの響きも良く、さわやかなイメージがある。由緒があり、地域に親しまれている。 磯子高校の校歌の1番冒頭にも「若木芽を吹く氷取の沢に」と地名が詠まれている。
ひとりざわこくさい 氷取沢国際	地名を使用し、新校の特色である「国際」を表す。
いそごひとりざわ 磯子氷取沢	新校の名称の頭には市区町名を付ける、という考え方があるから。磯子区氷取沢町にある高校であることがはっきりわかる校名である。
よこはましょうようだい 横浜翔陽台	新校の基本コンセプト（案）の趣旨でもある「国際的感性が豊かなグローバル人材の育成」という視点から、「国際都市横浜の地から積極的・能動的に世界を翔けめぐる人材を育成する高台にある学校」だから。
よこはましょうりん 横浜翔凛	新校の基本コンセプト（案）の趣旨でもある「国際的感性が豊かなグローバル人材の育成」という視点から、「国際都市横浜の地から世界を翔けめぐる凛々しい国際人を育成する学校」だから。
よこはまのうけん 横浜能見	能見には「能く見る」の意味がありグローバルにつながる。また能見堂は学校近くにある史跡で、安藤広重が描いたことでも有名。その地名は平安時代まで遡るといわれ、歴史を感じさせる。
その他、校名検討に関する意見 「氷取沢」は『吾妻鏡』に記されている由緒ある地名である。	

【PTA】（意見聴取の方法：アンケート用紙の配付・回収）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
ひとりざわ 氷取沢	これまでの伝統と歴史を継いでほしい。 校名変更の費用を抑制するというコスト面も考えた。 鎌倉時代からある地名。歴史を感じる地元の名前を残したい。
ひとりざわこくさい 氷取沢国際	氷取沢という校名を残し、国際教育にも力を入れることから。
いそごひとりざわ 礒子氷取沢	母校の名称が残ってほしいし、同じ理由から礒子高校の卒業生のことも含めた。
わくさわ 湧沢	個性やひらめきが次々と湧いてくる学校になるよう期待して。
ひとりざわ ^{ゆめ} ひとりざわ夢	地名は残したい。ひらがなで柔らかい印象。「ひとりざわ」は長いので夢1字。英表示は Dream。夢ある将来への架け橋に。
その他、校名検討に関する意見 「氷取沢高校」は所在地の名称であり、歴史もあり地域からも親しまれている。また、新校の教育方針や特色に大きな変化はなく、あえて校名を変更する必要はない。	

【同窓会】（意見聴取の方法：会長に聞き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
ひとりざわ 氷取沢	卒業生も誇りを持っている。現在の校名を残す。

【地域（自治会など）】（意見聴取の方法：自治会代表者に郵送依頼し電話で聴取）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
ひとりざわ 氷取沢	能見台1丁目自治会役員の総意として「氷取沢」がよい。 地域に慣れ親しんだ、生徒も誇りを持っている良い印象の、現在の校名を残す。
とみおかにし 富岡西	元々の地名は金沢区の富岡だった。その西側にある。
かなざわいそご 金沢礒子	金沢区と礒子区の区境に立地しているから。

《学校訪問による意見聴取結果：氷取沢高校》

<p>生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の校名に愛着がある。 ・時代が変わるにつれて、新しいことは必要だが、知名度のある氷取沢の名称は大事にしたい。 ・氷取沢という名称が、ちょっと変わっても残るのであれば、合体案がよい。 ・再編・統合によって、校名がどうなるか不安である。名前が残ってくれればうれしい。新しくなったとしても、みんなが賛成できれば、次の世代に期待できるのでよい。
<p>教職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氷取沢という名称がよい。卒業生も多方面で活躍しており、氷取沢という名称でブランドが確立されている。ここまで積み上げたものを継承していくべきと考える。 ・職員からは他の校名案も出ているが、少数である。 ・氷取沢の名称をあえて変えるにしても、氷取沢を残す名称としたい。 ・合体した名称や全く新しい名称も検討したが、納得できる答えはでなかった。だからこそ氷取沢を主張している。
<p>P T A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P T Aの中では、名前を残してほしいという声が多い。 ・氷取沢高校の名称はバス停や信号にも使われている。変わることにかかる費用負担も大きい。 ・変わらないことが許されるのであれば、変わらないでほしい。 ・どうしても変えるのであれば、氷取沢に何かつける形がよい。 ・2校の校名を合体させるような名称を用いるならば、全く新しい名称の方がよい。
<p>地域の方（自治会など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方はあえて変える必要はないという意見であった。 ・氷取沢という名称は地域に根ざした名前であり、さわやかな発音である。 ・富岡西という意見もあったが、正直、イメージがわからない。地域としては能見台となるが、金沢区であり、高校の敷地は磯子区になる。 ・伝統があり、よいイメージのものを変えるのはいかがなものかと考える。

《学校を通じた意見聴取結果：磯子高校》

【生徒】（意見聴取の方法：生徒会役員6名より聴取）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
のうけんだい 能見台	学校の近くの地域だから。
いそござわ 磯子沢	磯子高校と氷取沢高校を合わせた。
おおおかがわ 大岡川	大岡川の水源は氷取沢であり、横浜を流れる川だから。
ドラゴンスクール	アメリカにある幼稚園からとった。その幼稚園の教育方針が子供の自主性を重んじて、自由に様々なことに取り組みさせていることに共感し、そういう高校にしたいという思いから考えた。
みなぎ 海風	海が近いということ、海のように広い見識をもち、 ^{なま} 風のよ うに穏やかな心で学校生活を送れたらいいという願いから 考えた。
ひとりざわ 氷取沢	今まで親しまれてきた名前でもあるし、新校の場所が氷取 沢なので名前を変えなくてもよい。
いそご 磯子	新校の場所が氷取沢なので、「磯子」を残す。

【教職員】（意見聴取の方法：任意のアンケート）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
ひとりざわ 氷取沢	<ul style="list-style-type: none"> ・変更する必要はないのではないかと思います。両校を 含めたい案が思いつかないことも挙げられます。 ・新校の位置が氷取沢高校なので。 ・2、3年はそのまま在籍しているし、いろいろデータも そのままの名称でつくれば混乱は少ない。 ・今の名前に愛着がある。経費節減、混乱をなくす。
えんかいさん 円海山	<ul style="list-style-type: none"> ・磯子区に位置し、横浜市にはほとんどない「山」の地 名。県内の県立高校にも「山」の名前はなく差別化が図れ る。氷取沢・磯子両校生徒にも愛着のある地域の「山」の 名称を選んだ。 ・磯子区のある高校の傍らにある山の名前。
かみささげ 上笹下	上中里町、氷取沢付近の土地は旧来「上笹下」と呼ばれて いたことから、磯子・氷取沢をあわせた新校の名称として ふさわしいと思う。
さわ さと 沢の里	磯子高校の所在地、上中里町の「里」と氷取沢高校の 「沢」を組み合わせた。

そうりょう 総 陵	磯子と氷取沢のよいところを総合した丘の上にある高校。
すいげん 水 源	①氷取沢町が横浜南部の中心を流れる大岡川の水源を有している。 ②「沢」から川へ、川から「磯」(海)に流れる共通のものは、「水」である(ダブルミーニング) ③未熟で「沢」のような生徒が川となり大海へと成長していく過程の源流となる学校とする。
いそりさわ	あえてひらがなで。統合したことがストレートにわかりやすい。「ざわ」と濁るより清らかに。
いそごせいしょう 磯子青 翔	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域と連携・協働した教育活動の推進を図る」ことが「新校の基本コンセプト」の一つとなっている。氷取沢・磯子両高校は、立地する地域である「磯子区」とともに歩んできた歴史がある。 ・新校は、磯子区にある氷取沢高校の校地を使用し、新校となっても変わらず「磯子区」とともに歩んでいくため、校名の冒頭を「磯子」とした。 ・氷取沢高校の校章の地色は「青」であり、これは、「果てしなく広がる澄み切った宇宙を具象化」したものである。 ・「国際的感性の醸成」や「グローバル人材の育成」も「新校の基本コンセプト」にあり、ただ単に「国際」を意識するのにとどまらず、宇宙ように無限に広がるフィールドに飛び立つことができる人材を育成する学校づくりを行う意味をこめて、「磯子」の後ろに「青翔」という言葉をつけ、「磯子青翔」と命名した。 ・なお「青」には、氷取沢・磯子高校の校歌にもある、付近を流れる大岡川もイメージしている。
せんか 千花	氷取沢と富岡の間は千花という地名であったことから。
その他、校名検討に関する意見 (たくさんあって混乱するため)「横浜○陵高校」にするのはやめていただきたい。	

【PTA】（意見聴取の方法：PTA代表者からの聞き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
わかき 和香喜	磯子高校の校歌の中に「若木芽をふく」とあり、氷取沢高校の校歌にも「若き英知」とある。意味は違うが、「わかき」という言葉が両校の校歌に入っており、当て字として、 和→統合ということなので「和を以って貴しと為す」のようにお互い調和が大切 香→磯子の丘香る 喜→子ども達が喜び勇んで集う学校としたい という意味を込めた。

【同窓会】（意見聴取の方法：同窓会代表への聞き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
特になし	

【地域（自治会など）】（意見聴取の方法：近隣自治会代表者からの聞き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
のうけんだい 能見台	現在の町名を活かし利用しました。
せんか 仙華	氷取沢高校付近の山が「せんか」と呼ばれていたため。

《学校訪問による意見聴取結果：磯子高校》

生徒
<ul style="list-style-type: none"> ・学校がなくなるのは残念であるが、新しくなる期待感もある。 ・磯子も氷取沢も響きが良く、馴染んだ名前であるので、大事にしてほしい。 ・両校に名残がある名前ならよいが、全く関係ない名前だと、この先、両校のことを思い出せなくなる。それはさみしい。 ・磯子氷取沢という名称は長い感じがする。 ・海風がよい。風には穏やかな感じがある。これに、地名を付けるなら磯子か横浜がよいと思う。
教職員
<ul style="list-style-type: none"> ・いくつか案を出したが、一番しっくりくるのは氷取沢である。無理矢理感もなく反発もなかった。 ・横浜〇陵という校名は他にもあるので、混同する。 ・全く新しい名前を考えるなら、地名が入ってほしいが、そう考えると氷取沢がしっくりくる。 ・磯子氷取沢という名称でもよいが、強くは思っていない。 ・氷取沢は磯子区なので磯子という名称を活用することもできるかもしれないが、磯子を活用すると磯子工業高校と間違えられることが考えられる。
P T A
<ul style="list-style-type: none"> ・磯子高校の校歌には若木<small>わかぎ</small>とあり、氷取沢高校の校歌には若きと入っていたため、それをあて字にして和香喜とした。 ・両校の校歌に英知と入っていたが、私立高校の名称として使われている。 ・10年前には校名に陵という文字が用いられることが多かったが、それらを踏まえて考えたがピンとこなかった。 ・両校の名称を残すことは考えなかった。変えるなら思い切って変えた方がよい。
地域の方（自治会など）
<ul style="list-style-type: none"> ・仙華<small>せんか</small>という校名がよい。氷取沢高校の付近の山が仙華<small>せんか</small>と呼ばれており、ハイキングコースにもなっている。地域の名前が活用できればよい。 ・地元からは氷取沢を残してほしいという意見もあったが、新しくつくるべきということで、仙華<small>せんか</small>という案を出した。 ・仙華<small>せんか</small>に氷取沢または磯子を付することも考えたが、愛着もある方もいるので、違う地名がよいと思う。 ・仙華<small>せんか</small>と円海山は異なる。

(ii) 横須賀明光高校・大楠高校

校名候補	選定理由
<p style="text-align: center;">よこすかこうなん 横須賀光楠</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所在地名として、市名である「横須賀」を冠する。 ((1)－①) ○ 生徒一人ひとりが輝いて活躍するという意味の「光」と両校のシンボルツリーであるクスノキの「楠」をあわせ、「光楠」とし、新校に誇りや期待を持てる名称とする。 ((1)－③) ○ 新校は、普通科及び福祉科を併置することから、専門教育の特徴を表す言葉を付した場合は、普通科が併置されていることが明示されず、学校の種類がわかりにくくなるおそれがあることから学科を表す言葉は付さない。 ((2)－③)
<p style="text-align: center;">よこすかめいこう 横須賀明光</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の校名が浸透し、親しまれている点に配慮し、現在の校名を生かす。「横須賀明光」は、再編・統合前の方の校名であるが、「校名選定の考え方」に沿い、「横須賀」については市名として、「明光」については学校の設置趣旨、期待等を表す言葉として使用した。 ((1)－①) ((1)－③) ○ 新校は、普通科及び福祉科を併置することから、専門教育の特徴を表す言葉を付した場合は、普通科が併置されていることが明示されず、学校の種類がわかりにくくなるおそれがあることから学科を表す言葉は付さない。 ((2)－③)
<p style="text-align: center;">よこすかみなみ 横須賀南</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所在地名として、市名である「横須賀」を冠する。 ((1)－①) ○ 市区町村名が単独で使用されている学校が存在する(横須賀高校)ため、市区町村名に地名・地域名(字名、所在する地区を表す東西南北などを含む)として「南」を付する。 ((1)－②) ○ 福祉とクリエイティブスクールの温かいイメージを「南」と表し、新校に誇りや期待を持てる名称とする。 ((1)－③) ○ 新校は、普通科及び福祉科を併置することから、専門教育の特徴を表す言葉を付した場合は、普通科が併置されていることが明示されず、学校の種類がわかりにくくなるおそれがあることから学科を表す言葉は付さない。 ((2)－③)

よこすかりよくよう 横須賀緑陽	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所在地名として、市名である「横須賀」を冠する。 ((1)－①) ○ 大楠高校の「楠」と、横須賀明光^{くす}高校の「光」のイメージをそれぞれ「緑」と「陽」として表し、合わせて「緑陽」として、新校に誇りや期待を持てる名称とする。 ((1)－③) ○ 新校は、普通科及び福祉科を併置することから、専門教育の特徴を表す言葉を付した場合は、普通科が併置されていることが明示されず、学校の種類がわかりにくくなるおそれがあることから学科を表す言葉は付さない。 ((2)－③)
---------------------------	---

(※「選定理由」の()内の数字は《校名選定の考え方》の番号)

《学校を通じた意見聴取結果：横須賀明光高校》

【生徒】(意見聴取の方法：全生徒に意見聴取用紙配付。無記名任意回収)

校名 (よみがな)	由来・理由・意見
よこす かめいこう 横須賀明光	学校設立から10年しかたっていないのに校名を変更するのはおかしいと思う。(複数あり)
よこす かさいせい 横須賀彩成	それぞれの場所から集まった十人十色な生徒たちが、濟世できる人材になるように、各々の未来を彩っていきけるようにという意味。
よこす かさいけい 横須賀彩恵	自分の色彩を最大限に生かした恵みを持った人材が育つように、才英な生徒を生み出せるようにという意味。
よこす かきさき 横須賀輝咲	福祉の心をもって花のようにやさしく誰かを癒し、自分に合った所で一人ひとりが輝こうという意味。

【教職員】(意見聴取の方法：全職員に意見聴取用紙配付。記名任意回収)

校名 (よみがな)	由来・理由・意見
よこす かめいこう 横須賀明光	一人ひとりが明るく輝くという意味の校名は、福祉科の理念と普通科(クリエイティブ)の理念を包摂していて、新校にもふさわしいから。(複数あり)
よこす かみうら 横須賀三浦	三浦半島の中心に位置しているから。昔からある地名を校名に入れて欲しい。
よこす かくりはま 横須賀久里浜	シンプル・明快なものがよい。 ※他に「久里浜高校」の意見もあり
くろふね 黒船	他県の校名に無いもの。歴史的にも地域で愛されると思う。
よこす かこうなん 横須賀光楠	三浦半島の最高峰の ^{おおぐすやま} 大楠山と生徒一人ひとりが輝いて活躍するという意味をあわせた。大楠と明光の統合の意味もあり。

【学校評議員】（意見聴取の方法：全評議員に意見聴取用紙送付）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
めいこう 明光	幅広い分野で明るく光り輝くことができる人材を育てると いう横須賀明光の由来を拝見し、新校でもぜひそのような 人材育成を目指して欲しいと思ったから。
くりはま 久里浜	久里浜の地名を前面に出すべきだと思うから。
ぎんが 銀河	生徒一人一人が、社会で、地域で、世界で銀河のように明 るく輝き光る人材群として、銀河の星のような存在になる ようにという願いをこめて。
その他、校名検討に関する意見 校名選定の基本的な視点にもあるように、わかりやすく、親しみやすい校名を期待す る。	

【PTA】（意見聴取の方法：全役員・運営委員に全評議員に意見聴取用紙送付）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
よこす かめいこう 横須賀明光	明るく光り輝くことのできる人材を育てるという意味が良 いから。（半数以上がこの案）
よこす かくりはま 横須賀久里浜	地名による。学校の所在位置をイメージしやすい。
よこす かさはら 横須賀佐原	地名による。学校の所在位置をイメージしやすい。
ちひろ 千尋	久里浜は黒船が来航した海の地であり、千尋には海が深い という意味があるから。
よこす かくろふね 横須賀黒船	ペリーが日本にはじめて寄港した久里浜をアピールでき る。国際交流など世界に目を向けるのにも良い名前だと思 う。
よこす かみなみ 横須賀美波	統合する両校とも海に近いので、海にちなんだ校名は良い と思う。美しい波が繰り返し打ち寄せる美波という校名は どうか。
その他、校名検討に関する意見 「明光」には国際的な視野を広め、福祉の心を身に付ける、明るく光り輝くとの意味が ある素晴らしい校名である。できれば残して欲しい。	

【同窓会】（意見聴取の方法：会長及び副会長に意見聴取用紙送付）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
よこす かめいこう 横須賀明光	校名を変更する必要はない。
その他、校名検討に関する意見 カタカナを使うような学校名は避けて欲しい。正直言って格好悪い。	

【地域（自治会など）】（意見聴取の方法：訪問して意見聴取用紙配付）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
めいこう 明光	いくつか学校が統合した三浦半島の南に位置するこの学校が、これからも明日に向かって光り輝き、繁栄して欲しいから。
かいこく 開国	日本開国の引き金となったペリー来航の地にふさわしいから。

《学校訪問による意見聴取結果：横須賀明光高校》

生徒
<ul style="list-style-type: none"> ・ 明光という名前を残して欲しい。地名ではないが、明るく一人ひとりが輝ける気がする。 ・ 彩成<small>さいせい</small>や彩恵<small>さいけい</small>も、一人ひとりの個性が表されていてよい。 ・ 校名には友達<small>きずな</small>や絆を感じる。友人と過ごした時間を表す言葉である。誇りをもてるものであるべきだ。 ・ 小学校、中学校時代に学校が合併したことがある。校名は変わらなかったが、そういう経験もあるので変わっても不満はない。
教職員
<ul style="list-style-type: none"> ・ 横須賀明光という名称が相応しい。開校当初から在籍しており、明光という校名を広める努力をしてきた。10年経って地域にも根ざしてきている。福祉科やクリエイティブスクールの理念ともあう。 ・ 校名だけではないが、ようやく学校が地域に定着してきており愛着はある。 ・ 明光という二文字には教育理念、育てたい生徒像が込められており、一定の重みがある。 ・ 光楠という名称は、対等の再編・統合のイメージや両校の伝統や教育成果を吸収しながら新しい学校になるイメージがある。本校にも2本楠<small>くす</small>の木がある。楠<small>くす</small>の木のようにたくましく育ててほしいという思いが込められている。 ・ 佐原という地名の知名度は、横須賀を出るとどこまであるか疑問である。
PTA
<ul style="list-style-type: none"> ・ 校名を変更してから10年しか経っておらず、明光という校名には光輝く人材を育てる意味があるので、半数以上がこのまま校名を残してほしいという意見であった。 ・ 大楠との統合なので、地名を付けるよりも両校の校名を入れる方がよいという意見も出た。例えば明光の光と大楠の楠<small>くす</small>を入れた光楠という案が出た。 ・ 横須賀をとって、明光だけでもよい。 ・ 明光大楠は、言いづらいと思う。
地域の方（自治会など）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 銀河という名称がよい。地域や社会に貢献できる光輝く存在になって欲しいという思いがある。 ・ 明光という名前をあえて残さず、新しい高校となるので違う思いを込めた校名としたかった。元号も変わるので、新しい校名の方がよいと思った。 ・ 都市名や地名にはこだわらなくてよいと思う。 ・ 校風に合う名前を付けるべきだと思う。

《学校を通じた意見聴取結果：大楠高校》

【生徒】（意見聴取の方法：任意のアンケート）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
くり はま 久里浜	場所が久里浜だから。 久里浜が好きだから。
おおぐす 大楠	そのままがよい。
めいこう 明光	そのまま。
めいぐす 明楠	明光の明と大楠の楠をとった。
くり はまめいぐす 久里浜明楠	—
ぐすこう 楠光	大楠の楠と明光の光を合わせた。
よこすかぐすこう 横須賀楠光	横須賀はそのまま、大楠の楠をとって、明光の光をとって、元の2校の名前も残した。
おうぐす 桜楠	—
だいみょう 大明	大楠の大と明光の明を合わせる。
めいだい 明大	明光と大楠の名が残るようにしたかったから。
おおみつ 大光	大楠の大と明光の光を組み合わせた。
なんめい 楠明	大楠と明光の名前を一文字ずつ取った。
なんこう 楠光	それぞれの学校の文字を一つずつ入れたいと思ったから。
ほうめい 鳳銘	カッコいいから。
こうつき 煌月	字の通り生徒一人ひとりが輝いて、明るい様子を主張できるような学校の名前がいい。
せいめい 聖明	—
くり はまがくえん 久里浜学苑	—

【教職員】（意見聴取の方法：任意のアンケート）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
さほら 佐原	所在地の地名にすることで学校の知名度が上がり、親近感をいただく人が増えると思います。
くろふね 黒船	黒船が襲来した地として有名な横須賀・久里浜が一目でわかるような校名がよい。全国どこへ行っても、校名を言えば「横須賀にある高校」とすぐにわかるので、話題性は非常に大きい。また、スクールカラーは「黒」とする。
くりはま 久里浜	シンプルに地名をいやす。
くりはま ^{くす} りよくよう 久里浜 緑 陽	大楠高校の楠を緑、明光高校の光を陽 福祉のイメージカラー → 緑 クリエイティブ → 生徒支援 → あたたかなイメージ → 陽
よこすかみなみ 横須賀 南	福祉の心と相乗する校名としたい。

【PTA】（意見聴取の方法：役員への任意のアンケート）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
意見等なし	—

【同窓会】（意見聴取の方法：役員への任意のアンケート）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
意見等なし	—

【地域（自治会など）】（意見聴取の方法：自治会役員への任意のアンケート）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
意見等なし	—

《学校訪問による意見聴取結果：大楠高校》

生徒
<ul style="list-style-type: none">・ 久里浜がよい。地域の名前で親しみやすい。学苑^{がくえん}という言葉もつけたい。・ 両校の校名を合わせる名称も考えられるが、学校が久里浜に移るので久里浜がよい。・ 大楠の名称を残すことにこだわりはない。新しい名前がよい。・ 移る場所は佐原だが、久里浜は駅名としても使われているので、佐原より知名度が高い。
教職員
<ul style="list-style-type: none">・ 大楠のスクールカラーであり、楠木^{くすのき}の青々とした色で福祉のイメージを表す緑と、明光の光のイメージを表し、クリエイティブのあたたかいイメージをもつ陽を合わせた緑陽がよいと考えた。また、地名をつけるのであれば、横須賀を冠する高校は多いので、久里浜緑陽がよいと考えた。・ わかりやすく、書きやすい名称がよい。また、福祉科といっしょになるので温かさを感じさせる名称がよい。例えば久里浜とか横須賀南などがよい。・ 教職員はどちらかの校名を残すことが許されるという認識がないので、既存の校名を活用することは検討しなかった。・ 光楠のように、今までの校名を残した案を考える気持ちはわかるが、そもそも横須賀明光は久里浜と岩戸が再編・統合してできた名前である。そういう意味では、久里浜、岩戸、横須賀明光、大楠、4校の思いを背負った高校となる。そこに楠^{くす}の字を持っていくことは馴染^{なじ}まない。

(iii) 平塚農業高校・平塚商業高校

校名候補	選定理由
ひらつかのうしゅう 平塚農商	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所在地名として、市名である「平塚」を冠する。((1)－①) ○ 平塚農業高校の「農」と平塚商業高校の「商」を生かし、今までの両校の伝統を継承し、新校に誇りを持てる名称とする。((1)－③) ○ 新校は、農業科及び総合ビジネス科を併置することから、2つの専門教育の特徴である学科を表す言葉である「農商」を付した名称とする。((2)－③)
ひらつかそうせい 平塚創成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所在地名として、市名である「平塚」を冠する。((1)－①) ○ 「農業」と「商業」の学びが融合し、新しいものを作り出すことを期待させる「創成」を付する。((1)－③)
ひらつかにし 平塚西	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所在地名として、市名である「平塚」を冠する。((1)－①) ○ 市区町村名が単独で使用されている学校が存在した(平塚高校)ため、市区町村名に地名・地域名(字名、所在する地区を表す東西南北などを含む)として「西」を付する。((1)－②)
ひらつかたんじょうがおか 平塚達上ヶ丘	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所在地名として、市名である「平塚」を冠する。((1)－①) ○ 地名・町名等に関連するものとして、新校の所在する地域名である「達上ヶ丘」を付する。((1)－②)

(※「選定理由」の()内の数字は《校名選定の考え方》の番号)

《学校を通じた意見聴取結果：平塚農業高校》

【生徒】(意見聴取の方法：アンケート及び生徒会本部役員より意見聴取)

校名 (よみがな)	由来・理由・意見
ひらつかやくも 平塚八雲	両校の間にある神社の名前を使用した。
ひらつかしょうぎょう 平塚湘業	湘南にある農業科と商業科のある高校として農商を省略した。
ひらつかのうしゅう 平塚農商	—
ひらつかたんじょうがおか 平塚達上ヶ丘	—

【教職員】（意見聴取の方法：アンケート）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
のうしょうひらつか 農商平塚	学校種と地域の名称をもちこみながら、斬新な組合せで全国でも注目を集める高校をめざす。
ひらつかあぐりびじねす 平塚アグリ・ビジネス	特色となるカリキュラムを体現した名称として。
ひらつかじつぎょう 平塚実業	実業補習学校を併設した歴史から。
ひらつかだいいち 平塚第一	平塚市にある県下一番の専門高校をめざす心意気を表した。
ひらつかあきのう 平塚商農	地名と商業の「あきなう」と農業の「のう」を組み合わせた。

【PTA】（意見聴取の方法：アンケート）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
ひらつかたんじょうがおか 平塚達上ヶ丘	市名と地名である達上ヶ丘を組み合わせて、呼び方の調和を考えた。

【同窓会】（意見聴取の方法：同窓会役員会及び同窓会総会にて聞き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
ひらつかたんじょうがおか 平塚達上ヶ丘	達上ヶ丘の地から平農の名が消えるのかと、卒業生は驚きと落胆をしたと思われる。市名に加え愛着ある地名をもって校名としてほしい。
ひらつかのうしょう 平塚農商	市名に加え、農業と商業が統合したことがわかる。
その他、校名検討に関する意見 平塚高校は過去にあったと聞くが、現在はないので平塚高校で要望したい。	

【地域（自治会など）】（意見聴取の方法：自治会役員会での意見聴取）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
ひらつかのうぎょうしょうぎょう 平塚農業商業	農業と商業の名前をなくしてほしくない。

《学校訪問による意見聴取結果：平塚農業高校》

生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・平塚八雲は、商業と農業の間にある八雲神社から名付けた。 ・平塚湘業は、湘南の湘と農業・商業の業を合わせた。 ・平塚達上ヶ丘は、地名からとった。 ・平塚農商はシンプルでよい。 ・2校が合併した高校ではなく、1つの学校として成立してほしい。農業も商業も学べるので、両方の知識を持ってほしい。
教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・平塚実業がよい。前身の校名にも使われていた。原点回帰である。実業の中には、商業や農業の意味もある。略称も「ヒラジツ」と呼びやすい。 ・平塚^{あきのう}商農や、平塚第一もよいと思う。 ・湘^{しょうなんにし}南西もよいと思ったが、南と西が入るので正しく読まれないと考えた。西^{にししょうなん}湘南も考えたが、「せいしょうみなみ」と読め、西湘高校と混乱が生じる。 ・平塚総合は総合学科ではないので、違和感がある。
P T A	<ul style="list-style-type: none"> ・平塚達上ヶ丘がよい。商業と農業を学べるという観点で校名を考えたが、思いつかなかったので、地名である達上ヶ丘を活用した。 ・達上ヶ丘は読みづらいが、それが個性となる。 ・平塚八雲は地元になじみがある名称である。 ・一番をめざすという意味を込めて平塚第一とするのはわかるが、なぜ第一かという気持ちもある。 ・地域の名称として湘南か平塚かと問われれば、平塚である。平塚という地名は七夕祭りで名前も通っている。
同窓会	<ul style="list-style-type: none"> ・平塚達上ヶ丘と平塚農商の2案を提案したい。 ・達上ヶ丘だけだと、どこにあるかわからないので平塚をつけた。 ・達上ヶ丘は読めないかもしれないが、何年か経てば読めるようになる。 ・地域の名称で平塚ではなく、湘南をつけるのは違和感がある。

《学校を通じた意見聴取結果：平塚商業高校》

【生徒】（意見聴取の方法：アンケート）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
ひらつかしょうのう 平塚商農	商業と農業の統合
ひらつかのうしょう 平塚農商	農業と商業の統合
しょうなんそうごう 湘南総合	響き
ひらつか 平塚	平塚市の大きな高校
ひらつかおうか 平塚桜花	桜のように自分の軸を持つ
ひらつかせんもん 平塚専門	専門高校の統合
ひらつかじつぎょう 平塚実業	農業と商業の統合
ひらつかそうごう 平塚総合	普通科もできそう
ひらつかにし 平塚西	平塚市西部

【教職員】（意見聴取の方法：アンケート）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
ひらつかしのめ 平塚東雲	響き
ひらつかきょうめい 平塚共明	共に栄える
ひらつかしょうさん 平塚湘産	平塚・湘南エリアの産業人育成
ひらつかしょうめい 平塚湘明	湘南エリアに農商の光明を与える教育
ひらつかにし 平塚西	平塚市西部
ひらつか 平塚	農商統合の大規模校
ひらつかさんぎょう 平塚産業	農業と商業の統合

ひらつかじつぎょう 平塚実業	農業と商業の統合
ひらつかのうしょう 平塚農商	農業と商業の統合
ひらつかゆめ 平塚夢	夢の実現
ひらつかゆめか 平塚夢翔	夢の実現
ひらつかあすか 平塚明日翔	明日への希望
しょうなんひらつか 湘南平塚	湘南地域
ひらつかしょうこう 平塚湘光	湘南地域
ひらつかしょうよう 平塚湘陽	湘南地域
ひらつかしょうりょう 平塚湘陵	湘南地域
ひらつかそうせいかん 平塚創成館	ものづくり ことづくり ひとづくり
<p>その他、校名検討に関する意見</p> <p>卒業生に一番影響があるのは、校名の変更である。小田原城東、小田原総合ビジネス、小田原東のようにならないよう、農業・商業に直結する校名は避けた方が良い。</p>	

【PTA】（意見聴取の方法：アンケート）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
しょうなんびじねす 湘南ビジネス	湘南でビジネスを学ぶ
しょうなんひらつかしょうのう 湘南平塚商農	湘南をいれたい
ひらつかしーえー 平塚CA	コマースとアグリカルチャー
ひらつかさんぎょう 平塚産業	農業と商業の統合
ひらつかそうごう 平塚総合	農業と商業の統合
しょうなんそうごう 湘南総合	農業と商業の統合
しょうなんふるんていあ 湘南フロンティア	開拓者の育成

【同窓会】

(同窓会は設置されていない)

【地域（自治会など）】（意見聴取の方法：アンケート）

校 名（よみがな）	由来・理由・意見
しょうのう 商農	双方の伝統を残す
せいき 成器	成器塾跡地
とわびら 永遠平	永遠に続くように
ひらつかそうごうじつぎょう 平塚総合実業	実業的な学び
ひらつかいんたーなしょなる 平塚インターナショナル	響き

《学校訪問による意見聴取結果：平塚商業高校》

生徒
<ul style="list-style-type: none"> ・平塚高校は平塚の大きな学校という意味で気になるが、略称で呼ぶと平高<small>ひらこう</small>となり、平塚工科と重なる。 ・平塚農商や平塚商農だと、何を学んでいるかわかりやすい。農商、商農、順番はこだわらない。先に来るからえらいというわけではない。 ・湘南総合、平塚総合、平塚桜花<small>おうか</small>だと、何を学んでいるかわかりづらい。 ・平塚湘南という案は普通科高校のイメージである。
教職員
<ul style="list-style-type: none"> ・専門高校であることがわかるような名前にしたいが、産業や実業は新しさが感じられないので、普通の名称だが平塚夢翔<small>ゆめか</small>や平塚明日翔<small>あすか</small>などを提案したい。 ・英語の名称も考えたが、対応する日本語がない。グローバル化に向けて「平塚グローバルスクール」という英訳になるような日本語の校名がよい。農業、商業での取組みを地域からグローバルに発信する意味を持たせたい。 ・地名をいれるのであれば、平塚という名称にこだわりたい。 ・昔ながらの校名ではなく、新しい名前の方が、先生方のモチベーションがあがるように思える。
P T A
<ul style="list-style-type: none"> ・平塚は唯一、農業、商業、工業がある地域である。農業と商業が一緒になり、さまざまな学習を行うので平塚総合でもよい。 ・湘南の湘か商業の商を残して欲しい。略称が他校と重ならないようにしたい。 ・達上ヶ丘はピンとこないが、八雲<small>なじ</small>という名称には馴染みがある。 ・カタカナを入れるのであれば、ビジネスという文字は納得できるが、それ以外は思いつかない。
地域の方（自治会など）
<ul style="list-style-type: none"> ・考えているのは平塚農商か平塚商農だ。高校がなくなるのはさみしいことだ。 ・昔、平塚には平塚実践女学校があった。平塚実践もよい。 ・湘南実業や湘南実技もよい。 ・平塚の名称がよく使われるが学区がなくなったので、湘南の方がエリアを広く取れるのでよいと思う。

(iv) 弥栄高校・相模原青陵高校

校名候補	選定理由
<p>さがみはらやえい 相模原弥栄</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所在地名として、市名である「相模原」を冠する。((1)－①) ○ 地名・町名等に関連するものとして、新校の所在する地域名である「弥栄」を付する。(「弥栄」は、再編・統合前の一方の校名であるが、「校名選定の考え方」に沿い地域名として使用した。)((1)－②) ○ 新校は、普通科及びスポーツ科学科、音楽科、美術科を併置することから、専門教育の特徴を表す言葉を付した場合は、普通科が併置されていることが明示されず、学校の種類がわかりにくくなるおそれがあるため学科を表す言葉は付さない。((2)－③)
<p>やえい 弥栄</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の校名が浸透し、親しまれている点にも配慮し、現在の校名を生かす。(「弥栄」は、再編・統合前の一方の校名であるが、「校名選定の考え方」に沿い地域名として使用した。)((1)－②) ○ 新校は、普通科及びスポーツ科学科、音楽科、美術科を併置することから、専門教育の特徴を表す言葉を付した場合は、普通科が併置されていることが明示されず、学校の種類がわかりにくくなるおそれがあるため学科を表す言葉は付さない。((2)－③)
<p>やえいせいりょう 弥栄青陵</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 弥栄高校の「弥栄」と相模原青陵高校の「青陵」を生かし、今までの両校の伝統を継承し、新校に誇りを持つ名称とする。((1)－③) ○ 新校は、普通科及びスポーツ科学科、音楽科、美術科を併置することから、専門教育の特徴を表す言葉を付した場合は、普通科が併置されていることが明示されず、学校の種類がわかりにくくなるおそれがあるため学科を表す言葉は付さない。((2)－③)
<p>やえい 弥栄みどり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地名・町名等に関連するものとして、新校の所在する地域名である「弥栄」を冠する。(「弥栄」は、再編・統合前の一方の校名であるが、「校名選定の考え方」に沿い地域名として使用した。)((1)－②) ○ 両校のスクールカラーである「ブルー」を、緑から青まで表現できる「みどり」として、相模原青陵高校のイメージと、弥栄高校の緑豊かな環境を継承した、新校に誇りや期待を持つ名称とする。((1)－③) ○ 新校は、普通科及びスポーツ科学科、音楽科、美術科を併置することから、専門教育の特徴を表す言葉を付した場合は、普通科が併置されていることが明示されず、学校の種類がわかりにくくなるおそれがあるため学科を表す言葉は付さない。((2)－③)

(※「選定理由」の()内の数字は《校名選定の考え方》の番号)

《学校を通じた意見聴取結果：弥栄高校》

【生徒】（意見聴取の方法：クラスごとにアンケート、個人での意見募集）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
やえい 弥栄	<ul style="list-style-type: none"> 各学科で、「弥栄高校」として名が知られており、変えると弥栄小学校、中学校との名前の統一がなくなり、伝統や歴史が壊れるから。
やえいせいりょう 弥栄青陵	<ul style="list-style-type: none"> 校名をそれぞれ取り入れることで、両校の歴史が保たれるから。
その他、校名検討に関する意見 <ul style="list-style-type: none"> 「相模原弥栄」、「碧陵」など（個人からの意見）。 大多数が「弥栄」、それ以外は非常に少数。 	

【教職員】（意見聴取の方法：全教職員にアンケート）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
やえい 弥栄	<ul style="list-style-type: none"> 音楽科、美術科、スポーツ科学科という異なる分野の複数の専門学科と普通科を併置する、県内でも唯一の集合型の学校であり、各専門学科や部活動の活躍により、弥栄高校の校名が全国的に認知されているため。 弥栄小、弥栄中、弥栄高の3校は弥栄トリニティとして地域連携を行い、この地域の教育の中核を担っており、地域の人々に親しまれているため。 平成20年度に弥栄高校となり、すでに地域で弥栄の名称が校名として広く認知されているため。 弥栄高校で学ぶということに生徒が誇りをもっていると感じられるため。
その他、校名検討に関する意見 <ul style="list-style-type: none"> 職員、生徒、地域、その他関係する人たちの意見を取り入れてほしい。 「弥栄」以外の意見なし。 	

【PTA】（意見聴取の方法：PTA運営委員会で意見聴取）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
やえい 弥栄	<ul style="list-style-type: none"> 「集合型専門高校 弥栄」というブランドとして高い関心もたれており、相模原市外からも多くの中学生が受験、進学する高校となっているため。 同じブロック内に弥栄小学校、中学校を有し、小・中・高の三位一体、「弥栄トリニティ」と称され、「文教地区」としての認知が定着しているため。 部活動は、弥栄東・弥栄西高校時代より全国区で活躍しており、「弥栄」の名が広く知れ渡っているため。 近隣に相模原、相模の名がつく学校が多く存在し、「弥栄高校」を超える認知度の高い（他と混乱しにく

	<p>い) 名称を見つけるのは困難であるため。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度の「国際科」、「理数科」から「普通科」への再編を経て、ようやく落ち着きを取り戻してきたタイミングで校名を変更すると、在校生の精神面への悪影響が懸念されるとともに、保護者自身も不安に感じているため。
<p>その他、校名検討に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 「弥栄」以外の意見なし。 	

【同窓会】（意見聴取の方法：臨時代表幹事会等にて意見聴取）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
やえい 弥栄	<ul style="list-style-type: none"> 校名が、「特徴的な個性のある学校の代名詞」として既に定着しているため。 前回の弥栄東、弥栄西の再編統合以前から地域に親しまれる呼び方であるため。 校名変更で多額のコストがかかるため。 近隣に相模、相模原と名のつく学校が 11 校もあり、校名に地名を入れると区別しにくいいため。
<p>その他、校名検討に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 「弥栄」以外の意見なし。 	

【地域（自治会など）】（意見聴取の方法：訪問し意見聴取）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
やえい 弥栄	<ul style="list-style-type: none"> 弥栄 3 丁目に在る弥栄小学校、弥栄中学校、弥栄高等学校は、わが地域の誇りであるため。 所在地の校名でもあり、伝統と愛着のある名称であるため。 これまでの学校が歩んできた歴史を大切にしてほしいため。 避難所運営協議会（栄・高根・弥栄）の各自治会でも「弥栄」のままがよいとの全会一致の声があるため。
さがみはらやえい 相模原弥栄	<ul style="list-style-type: none"> 相模原を全国的にアピールするとともに、弥栄高校がどこに存在するかを知ってもらうため。
<p>その他、校名検討に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 相模原青陵高校が学校として閉校を意識しているのなら、名前は特に融合させる必要はない。 	

《学校訪問による意見聴取結果：弥栄高校》

生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・校名は弥栄がよい。生徒たちの活動が活発であり、スポーツの分野、芸術の分野、地域、あらゆる面で名が通っている。 ・統合は構わないが、校名は弥栄がよい。 ・別の校名になると、ユニフォームを作り直す必要がある。 ・生徒たちは弥栄高校に入学してきたのだから、弥栄高校の生徒として卒業したい気持ちをもっている。
教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・校名は弥栄がよい。弥栄高校に勤めることは誇りである。コンクールなどにも多数入賞している。スポーツ、音楽、美術、あらゆる面で名前が通っている。 ・新たに普通科ができた、在県外国人等特別募集も始まっている。この後、校名を変えると混乱が生じる。 ・校名を変えるとユニフォームを変える費用がかかると指摘された。 ・他の校名を考えられないのは、相模原青陵の生徒がこちらに来ない点が多い。相模原青陵の生徒がこちらに来るのであれば、そういう考えにはならないと思う。
P T A	<ul style="list-style-type: none"> ・弥栄の名前を残して欲しい。P T Aの総意である。 ・子どもが選んだ高校の校名を大事にしたい。 ・校名変更にかかるコストや労力を、子どもの教育に向けて欲しいという思いがある。 ・入学した校名と卒業する時の校名が異なることに、違和感がある生徒もいるようである。
同窓会	<ul style="list-style-type: none"> ・弥栄という名前を残して欲しい。 ・弥栄以外の校名が思いつかなかった。 ・美術や音楽などの校風を他の一つの言葉で表すことは困難である。 ・弥栄という名前に付加する言葉も考えたが、ふさわしい言葉がない。
地域の方（自治会など）	<ul style="list-style-type: none"> ・弥栄はいよいよ栄えるというよいことばであるので、名前を変えるのは避けたい。 ・弥栄地区には、弥栄小・中・高が揃っており、地域の誇りである。 ・地域の取組みにも積極的に参加してもらっている。 ・弥栄という地名は他にもあるが、相模原を付ける必要もないと考える。

《学校を通じた意見聴取結果：相模原青陵高校》

【生徒】（意見聴取の方法：生徒会役員に聴き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
やえい 弥栄	「学校の所在地の市町村名を原則として使用する」ということと合致する。
せいせい 青栄	弥栄と相模原青陵の両校の名前をシンプルに組み合わせて、親しみやすい校名である。

【教職員】（意見聴取の方法：任意のアンケート）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
やえい 弥栄	地名ということに加え、弥栄（いやさか）という別の読み方には「ますます栄える」という意味がある。
やえいせいりょう 弥栄青陵	再編・統合を象徴した名前である。
さがみはらちゅうおう 相模原中央	相模原市中央区にあり、CENTER（中心）となる意味も込められている。

【PTA】（意見聴取の方法：PTA役員に聴き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
しょうえい 翔栄	栄光に向かって空高く翔 ^か けあがってほしいという願い。
やえい 弥栄	統合して再出発し、さらに栄えてほしいという願い。
りょうえい 陵栄	今の状況を乗り越えてさらに大きく繁栄してほしいという願い。
その他、校名検討に関する意見 「はやぶさ」「陵南」という案も出されました。	

【同窓会】（意見聴取の方法：同窓会長に聴き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
	一任します。

【地域（自治会など）】（意見聴取の方法：相武台団地自治連合前会長に聴き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
やえい 弥栄	地名をそのまま生かす形が望ましい。

《学校訪問による意見聴取結果：相模原青陵高校》

生徒
<ul style="list-style-type: none"> ・校名を残して欲しいが、青陵の鳥（^{つばめ}燕）のイメージだけでも残して欲しい。 ・象徴的な青陵の「青」や地名が残せたらと思う。 ・再編・統合になることを知って入学している。最後だからこそ、できることがあると思っている。 ・生徒一人ひとりの個性や、生徒同士の仲の良さ、先生との距離の近さなどを引き継いでほしい。
教職員
<ul style="list-style-type: none"> ・相模原青陵の生徒が新校に行かないということで、前回の^{あらいそ}新磯・相武台の再編・統合とは異なるという認識を持っている。 ・生徒が新校に対して思い入れが深くなるような校名がよい。 ・弥栄が先に普通科の改編を行ったことで弥栄主導となっている感じがする。それは止むを得ないと考えるが、相模原青陵を感じさせるものを何かしら残してほしい。 ・弥栄は地名なので、校名として活用されることとなるかもしれないが、そうなったとしても、何かしらの形で相模原青陵のことは残してほしい。
P T A
<ul style="list-style-type: none"> ・P T Aとしては、青陵の青いイメージが残せないかという意見もあった。 ・弥栄には将来、発展するという意味もあるので、弥栄のまま、または弥栄の前後に何か付く名前でもよいと考えている。 ・^{はやぶさ}隼という文字を活用した意見があったと思う。自由にはばたくイメージは大事にしたい。自由に次世代に活発に活動できる校名であってほしい。 ・校名について、意見を聞いてくれるとは思わなかった。
地域の方（自治会など）
<ul style="list-style-type: none"> ・相武台から青陵になり地域にも^{なじ}馴染んでいる。学校がなくなるのは残念である。 ・新しい元号の名称とかでもよいと考えた。 ・改めて変える必要があるのかという気持ちがある。相模原青陵の生徒が移らないのに、校名を変える必要があるのかという気持ちもある。 ・石碑や記念碑などは残すべきだと考える。

4 協議経過

開催日		協議内容
平成 30 年 7 月 24 日	第 7 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立高校改革における校名選定の考え方について ・ 校名選定の対象校について ・ 今後のスケジュールについて
平成 30 年 11 月 2 日	第 8 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校訪問による意見聴取 (弥栄高校/相模原青陵高校)
平成 30 年 11 月 30 日	第 9 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校訪問による意見聴取 (平塚農業高校/平塚商業高校)
平成 30 年 12 月 7 日	第 10 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校訪問による意見聴取 (横須賀明光高校/大楠高校)
平成 30 年 12 月 14 日	第 11 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校訪問による意見聴取 (氷取沢高校/磯子高校)
平成 31 年 3 月 25 日	第 12 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校名選定の進め方について ・ 対象校の校名について ・ 今後のスケジュールについて
令和元年 5 月 10 日	第 13 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象校の校名について ・ 今後のスケジュールについて
令和元年 6 月 26 日	第 14 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立高校校名検討懇話会の第三次報告書について ・ 今後のスケジュールについて

県立高校校名検討懇話会の設置及び運営に関する要綱

(設置目的)

第1条 県立高校改革に伴う再編・統合等の対象となる高校の校名に関する有識者等の意見を聴取し、校名検討に反映させるため、県立高校校名検討懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

(意見を求める事項)

第2条 懇話会は、次の事項について、専門的見地等に基づく意見を聴取する。

- (1) 県立高校改革に伴う再編・統合等の対象となる高校の校名に関すること。
- (2) その他校名に関し教育長が必要と認める事項。

(設置期間)

第3条 懇話会の設置期間は、平成32年3月31日までとする。

(構成員)

第4条 懇話会は、教育行政や学校教育に関する学識経験を有する者等や一般県民（公募構成員を含む）から選定した者5名をもって構成する。

- 2 懇話会の構成員（以下「構成員」という。）の選任期間は2年間とする。ただし、最初の期間は、懇話会設置の日から平成30年3月31日までとする。

(会長)

第5条 懇話会に会長1人を置く。

- 2 会長は、構成員の互選により定める。
- 3 会長は、懇話会における意見を取りまとめる。
- 4 会長が不在のときは、あらかじめ会長が指名する者が代理する。

(会議の開催)

第6条 懇話会は、会長が必要に応じて開催する。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、懇話会に構成員以外の者を出席させることができる。

(庶務)

第7条 懇話会の庶務は、教育局総務室が行う。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営等に関し、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年3月18日から施行する。

県立高校校名検討懇話会構成員名簿

氏 名		職 名 等
会 長	山本 光	横浜国立大学 教育学部 教授
会長代理	佐野 朗子	県立湘南台高等学校 校長
構成員	大野 光雄	ニコ株式会社 代表取締役
	長 俊介	元 神奈川県立高等学校 PTA 連合会 副会長
	桃原 健一	公募構成員